

LEDシーリングライト
取扱説明書
GYL12R0080101

お客様へ

工事店様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに
大切に保管してください。

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番 GSX12095

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を
区分して、説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある
内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が
発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

■取付面

●次のような場所には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止



◎この器具は水平天井専用です。

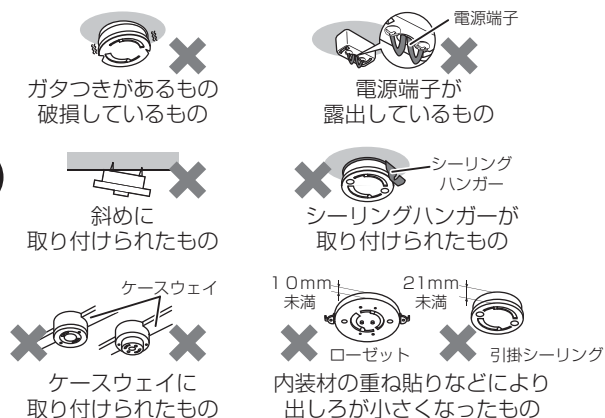
■配線器具

●次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



禁止



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です。）

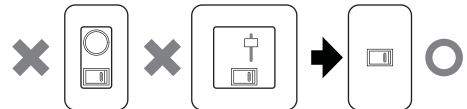
■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換してください。

火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（工事には資格が必要です。）

■その他

●交流100ボルトで使用してください。

過電圧を加えると過熱し、火災・感電の
おそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を
切ってください。

異常状態が収まったことを確認し、
お客様相談室にご相談ください。



必ず守る

●アダプタは確実に取り付けてください。
落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付けてください。
破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認して
からカバーを取り付けてください。
破損して感電のおそれがあります。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしないで
ください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠️ 注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。(弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください。)
http://www.takizumi-denki.com/safety/anzen_check_seat_jyuutaku.pdf



必ず守る

- 付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。火災、感電の原因となることがあります。

- 取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるように注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。



必ず守る

- カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

- ◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

- ◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気が多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

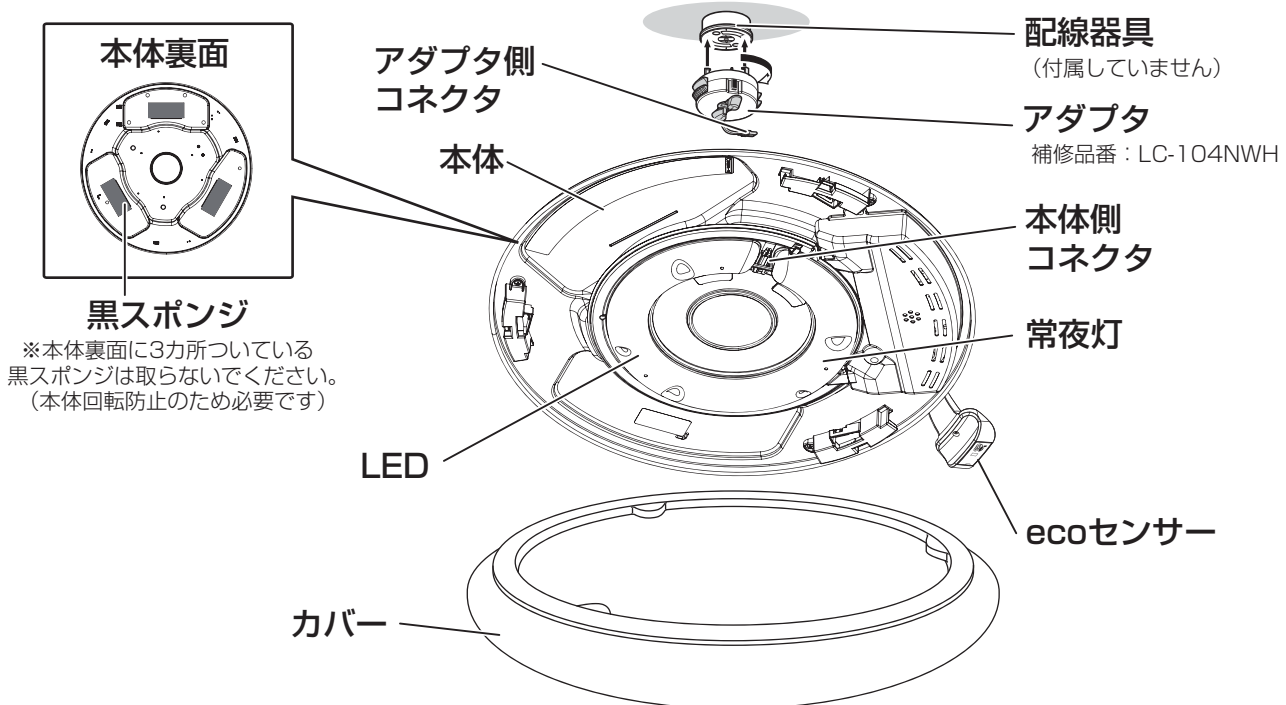
- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

- LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

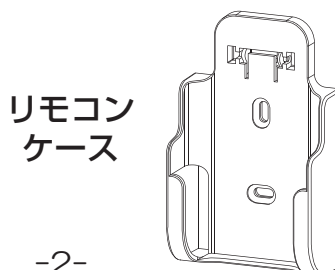
取付ける前にまず付属部品をご確認ください



リモコン付属部品

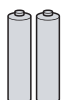


※リモコン前面の保護シートは取りはずしてからご使用ください。



木ネジ 2個

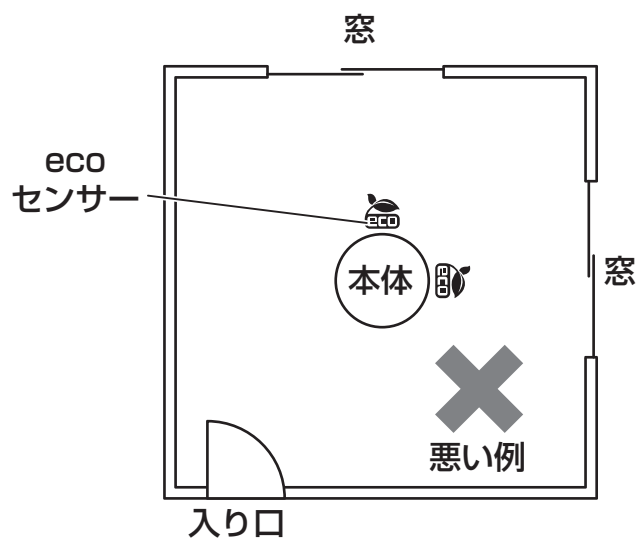
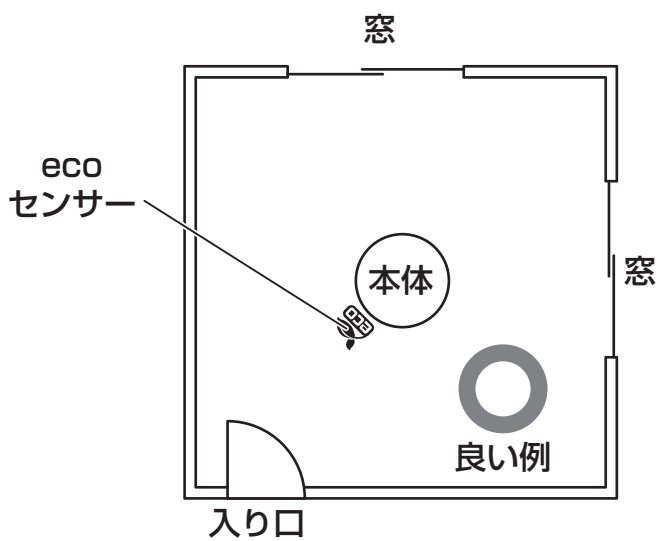
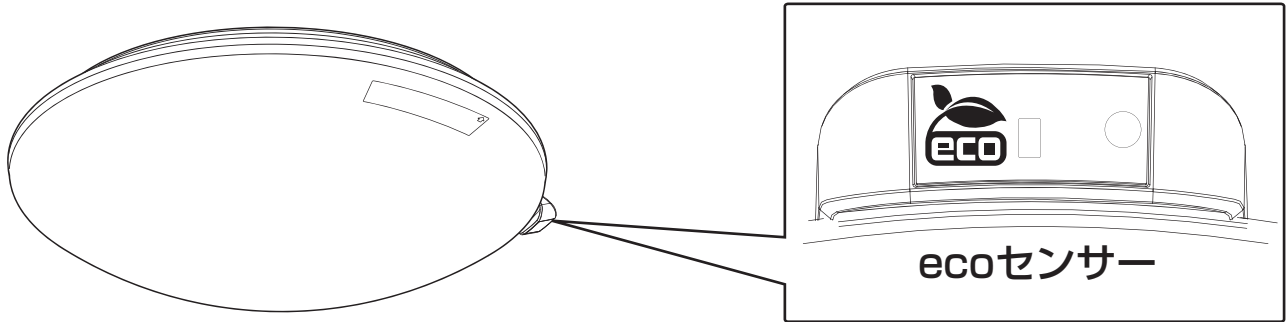
単4形乾電池 2個



●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短い場合があります。

ecoセンサーの位置を確認する

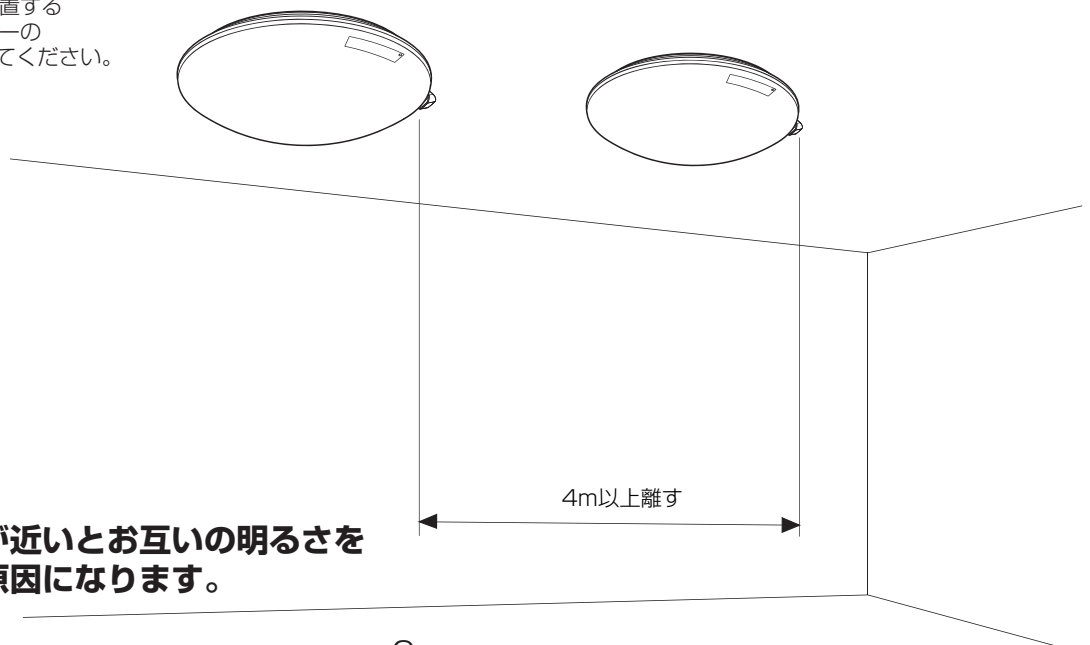
ecoセンサーの位置を窓からなるべく離れた位置になるように取付けてください。



※窓の外の光を直接検知すると、設定よりも暗くなる場合があります。

ecoセンサー付き器具を複数設置する場合の注意点

ecoセンサー付き器具を複数設置する場合は、それぞれのecoセンサーの位置間を4m以上離して設置してください。



※設置位置間の距離が近いとお互いの明るさを検知して誤作動の原因になります。

照明器具を取り付ける

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

1 天井についている配線器具を確認する。

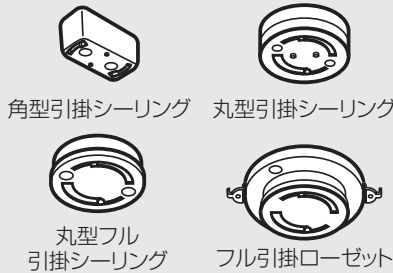
※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に右図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

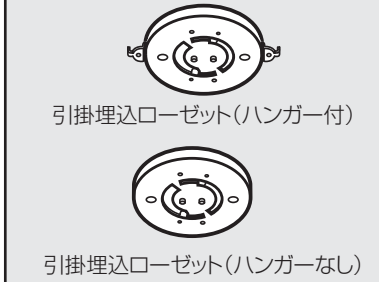
❗ 右記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です。)

天井からの出しが22mmの配線器具



天井からの出しが11mmの配線器具

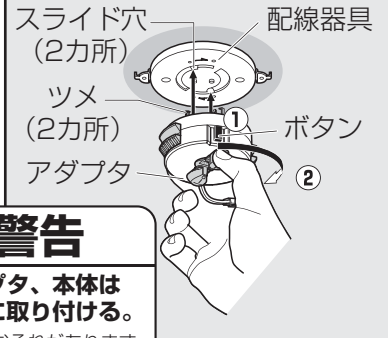
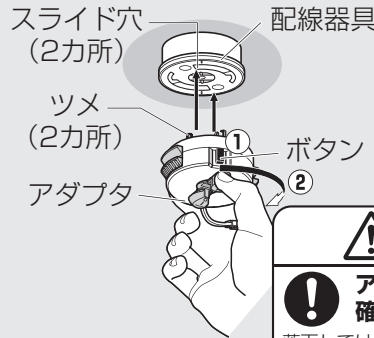


2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

- ① 位置を合わせる。
アダプタのツメ(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる。
- ② カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける。

警告

❗ アダプタは必ず付属のアダプタを使用してください。
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。



警告

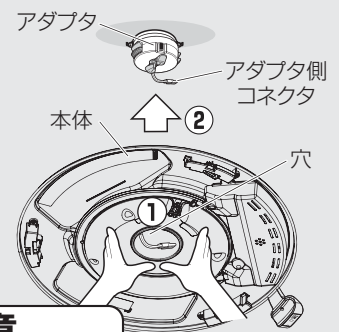
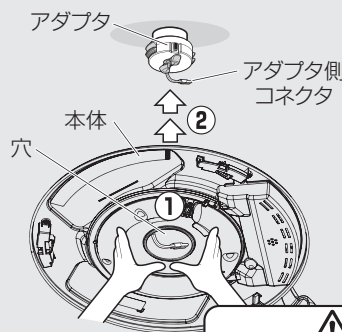
❗ アダプタ、本体は確実に取り付ける。
落下してけがのおそれがあります。

確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。

3 本体を取り付ける。

- ① 本体の穴にアダプタ側コネクタを通す。
- ② アダプタに本体の穴を合わせて穴のまわりを押し上げる。
- ③ アダプタのツメ(白)が見えることを確認する。
- ④ アダプタのハンドルをロックする。

※配線器具により本体の取付位置が異なります。下記を参考に押し上げてください。



注意

❗ 本体の穴のまわりを押し上げる。

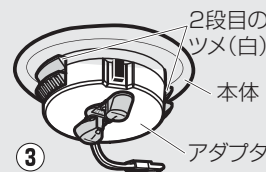
カチッ カチッ と2度、音がするまで押し上げる。

横から見た図



アダプタの本体取付位置

アダプタ2段目のツメ(白)が両方見える。



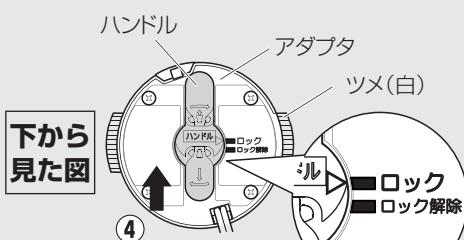
カチッと1度、音がするまで押し上げる。

横から見た図



アダプタの本体取付位置

アダプタ1段目のツメ(白)が両方見える。



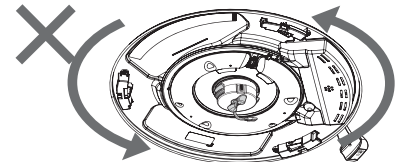
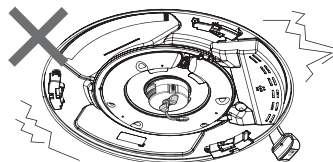
下から見た図

ハンドルをスライドさせて▲印をロックの位置に合わせる。

4 本体が正しく取付けられているか確認する。

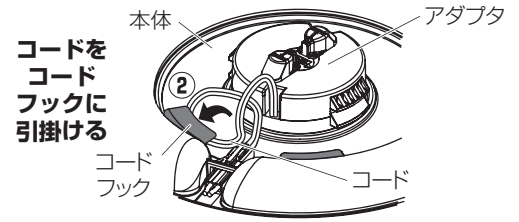
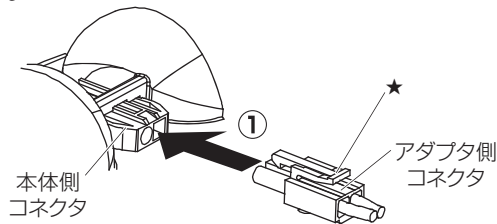
確認

右図の場合、正しく取付けされていないので手順 ③ を再度行なってください。



5 コネクタを接続する。

- ① アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む。
- ② アダプタのコードを本体のコードフックに引掛ける。



確認

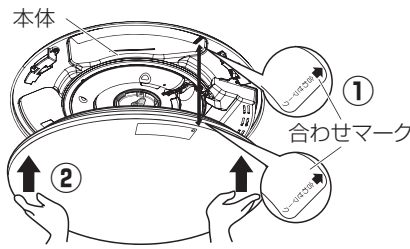
★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けにくいことを確認してください。

警告

コネクタ接続後は、本体を無理に回転させないでください。器具や配線器具の落下、破損の原因になります。

6 カバーを取付ける。

- ① 本体とカバーの合わせマークを合わせる。
- ② カバーを持ち上げる。
- ③ カチッと音がするまでカバーを右に回す。

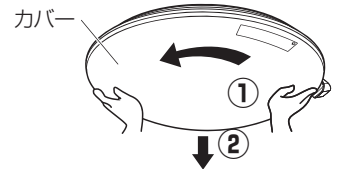


確認

カバーが確実に取付けされていることを確認してください。

取り外しかた

- ① カバーを左に回す。
- ② カバーを外す。

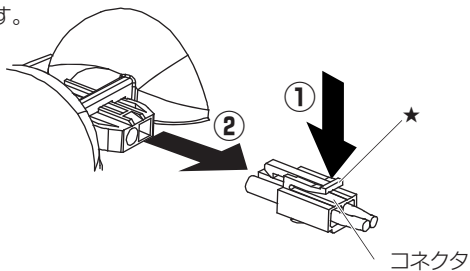


照明器具を取り外す

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

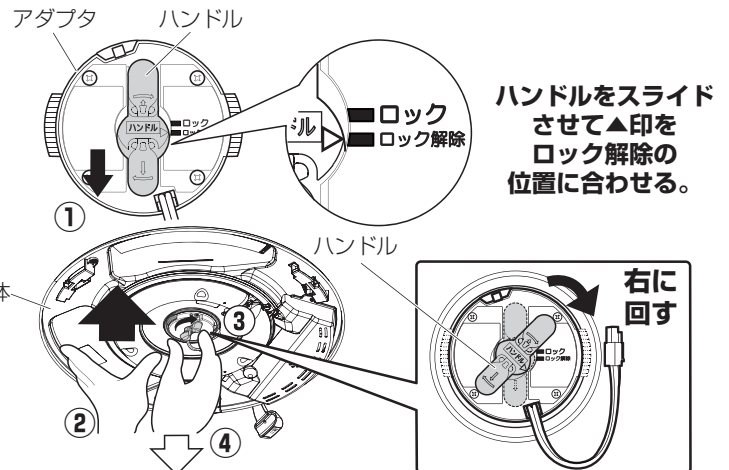
1 コネクタを外す。

- ① コネクタの★部分を押さえながら
- ② 取り外す。



2 本体を取り外す。

- ① アダプタのロックを解除する。
- ② 本体が落ちないようにしっかりと支えながら
- ③ ハンドルを右に回す。
- ④ 本体をゆっくりと下げて取り外す。



3 アダプタを外す。

- ① ボタン（黒）を押しながら
- ② 左に回して外す。

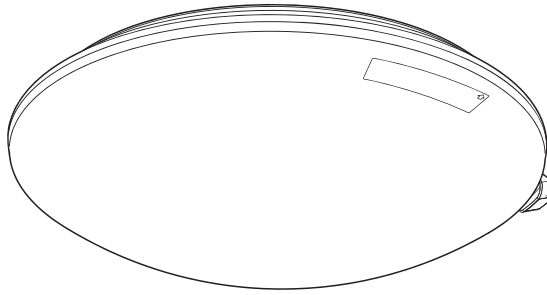


警告

本体が落ちないようにしっかりと支える。落下してけがのおそれがあります。

各部のはたらき

ecoセンサー



※ecoセンサー前面の保護シートは取りはずしてからご使用ください。

確認用表示 (緑色)

表示	状態
点灯	ecoセンサーON
点滅	明るさ変化中
消灯	ecoセンサーOFF

ecoセンサー

周囲の明るさを検知します。

リモコン

リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

リモコンのボタンについて

※リモコンなどの付属部品は1年保証です。(乾電池を除く)

全灯ボタン

100%の明るさで点灯します。
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。
ボタンを長押し(3秒以上)で操作する照明器具のチャンネルを切り替える場合に使用します。
⇒(8ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照)

調光ボタン

明るさを調節します。
調光範囲: 100%~約10%まで

調色ボタン

色あいを調節します。
調色範囲: 昼光色6700K~電球色3000K※まで

offタイマーボタン

offタイマーをセットすると30分または60分後に自動消灯を行います。

タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと「ピー」とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

押すごとに下記の動作を繰り返します



消灯ボタン

消灯します。

消灯ボタン操作	点灯状態
1回押す	すぐに消灯
2回続けて押す	約30秒後に消灯

●この器具は、リモコンで消灯している場合約1W以下の電力を消費しています。長期間ご使用されない場合、壁スイッチをOFFにしておくことをおすすめします。

チャンネル切替スイッチ

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒(8ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照)

メモリー点灯ボタン

メモリー設定操作をした「明るさと色あい」で点灯します。ボタンを長押し(2秒以上)で点灯状態を記憶します。
⇒初期設定 (明るさ: 100% 色あい: 昼白色5000K※)
⇒(7ページの点灯状態を調光・調色し記憶させる、記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させるを参照)

センサー入/切ボタン

ecoセンサーのON/OFF操作に使用します。ボタンを長押し(3秒以上)で環境設定を開始します。
⇒(11ページのecoセンサーの初期設定 12ページのecoセンサーの使い方を参照)

●初期設定 (明るさ100%) で点灯しますが、必ず設定をおこなってください。

常夜灯ボタン

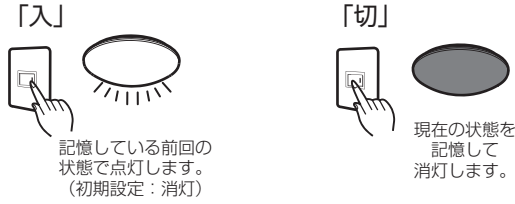
常夜灯を点灯、ボタンを押すたびに明るさを調節します。
●常夜灯は調色できません。
調光範囲: 明暗上下5段階⇒初期設定: 最大の明るさ(5段階)

※K(ケルビン)とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

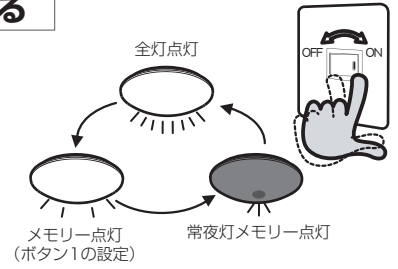
点灯・消灯する



- ただし、リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後にメモリーボタンに記憶した「明るさと色あい」で点灯します。
- 消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く
(約3秒以内に)
OFF⇄ONと
切り替えると次の順に
点灯状態が切替ります。



- 初期設定はメモリーボタン (明るさ：100%
色あい：昼白色5000K) の状態で記憶されています。
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコンについて

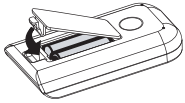
リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

乾電池の入れかた

- 裏側のカバーをはずす。
- 電池の⊕⊖を正しく入れる。



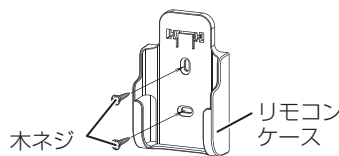
- カバーを取り付ける。
電池は⊖側接点をリモコンのバネに正しく押し当てながら装填してください。



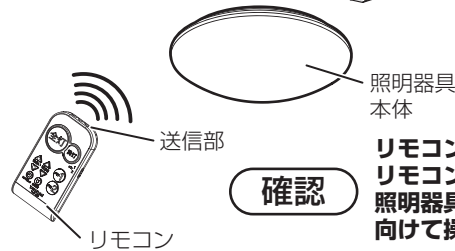
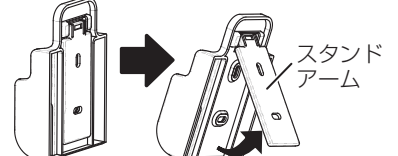
- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れるとき、電池に傷を付けたり、カバーを破らないようにしてください。
発熱、破裂、発煙、発火の恐れがあります。
- 交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

リモコンケースの使いかた

壁などに取付ける場合



テーブルなどに置いて使用する場合

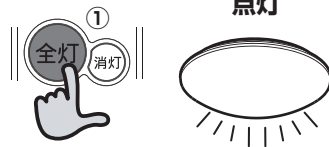


リモコンを操作する場合は
リモコンケースから取り出し
照明器具本体に送信部を
向けて操作してください。

点灯状態を調節し記憶させる

LED点灯中に調光・調色操作を行ない、メモリーボタンを長押しすることにより、その明るさ、色あいを記憶することができます。

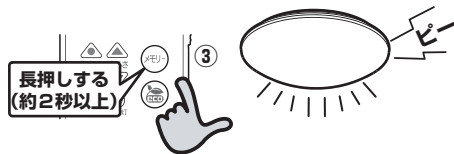
- リモコンの「全灯ボタン」を押してLEDを点灯させる。



- リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押しておこのみのLEDの明るさと色あいに調節する。



- リモコンの「メモリーボタン」を長押しして明るさと色あいを記憶する。



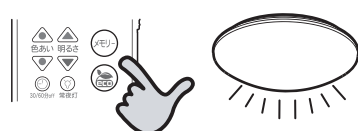
「ピー」とブザーが鳴り
明るさと色あいを記憶

- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさと色あいを保持します。

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させる

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。

リモコンの「メモリーボタン」を押してLEDを点灯させる。



- 初期設定は (明るさ：100%
色あい：昼白色5000K) の状態で記憶されています。

リモコンの便利な使いかた

2台までのリモコン照明器具を操作する

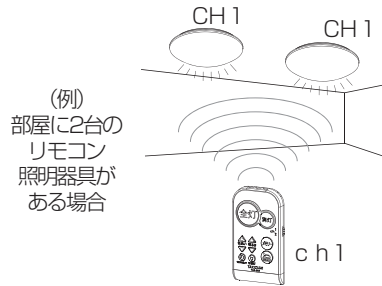
照明器具のチャンネルを変更できます

チャンネル設定で できること

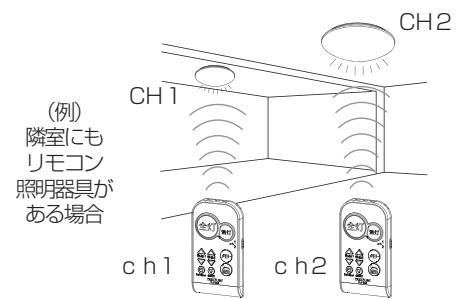
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。

また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。

●複数の器具を同時に 点灯できます。

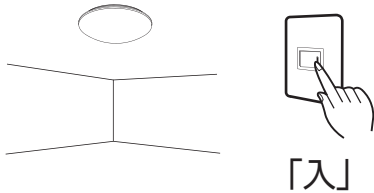


●近くの器具を別々に 点灯できます。



チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。



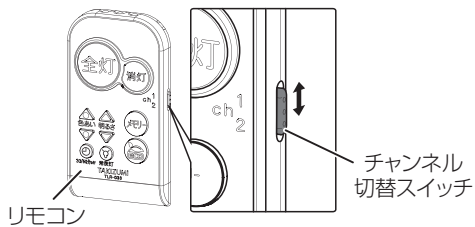
照明器具本体をch2に設定する場合

- ① チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具 (1台) のみを壁スイッチONにする。

照明器具本体をch1に設定する場合

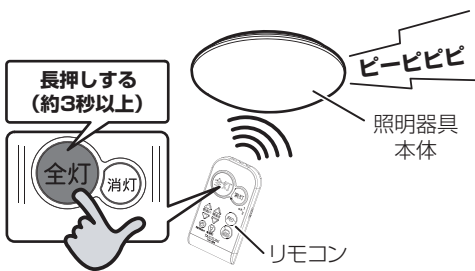
- ① チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具 (1台) のみを壁スイッチONにする。

チャンネル設定を切り替えたい照明器具本体以外にも反応して、同時に設定されてしまう場合は壁スイッチOFFにしてから対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。



- ② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置にする。

- ② リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置にする。

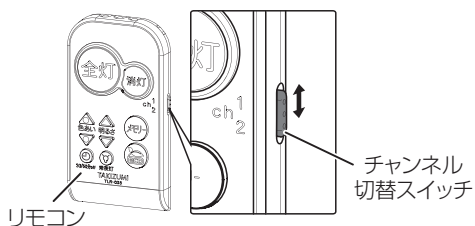


- ③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。
(このときの点灯状態は、全灯点灯となります)

- ③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。
(このときの点灯状態は、全灯点灯となります)

「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch1** → **ch2** へ切り替わります。

「ピーピーピ」とブザーが鳴り照明器具本体のチャンネルが **ch2** → **ch1** へ切り替わります。



- ④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください。

- ④ リモコンのチャンネル切替スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください。

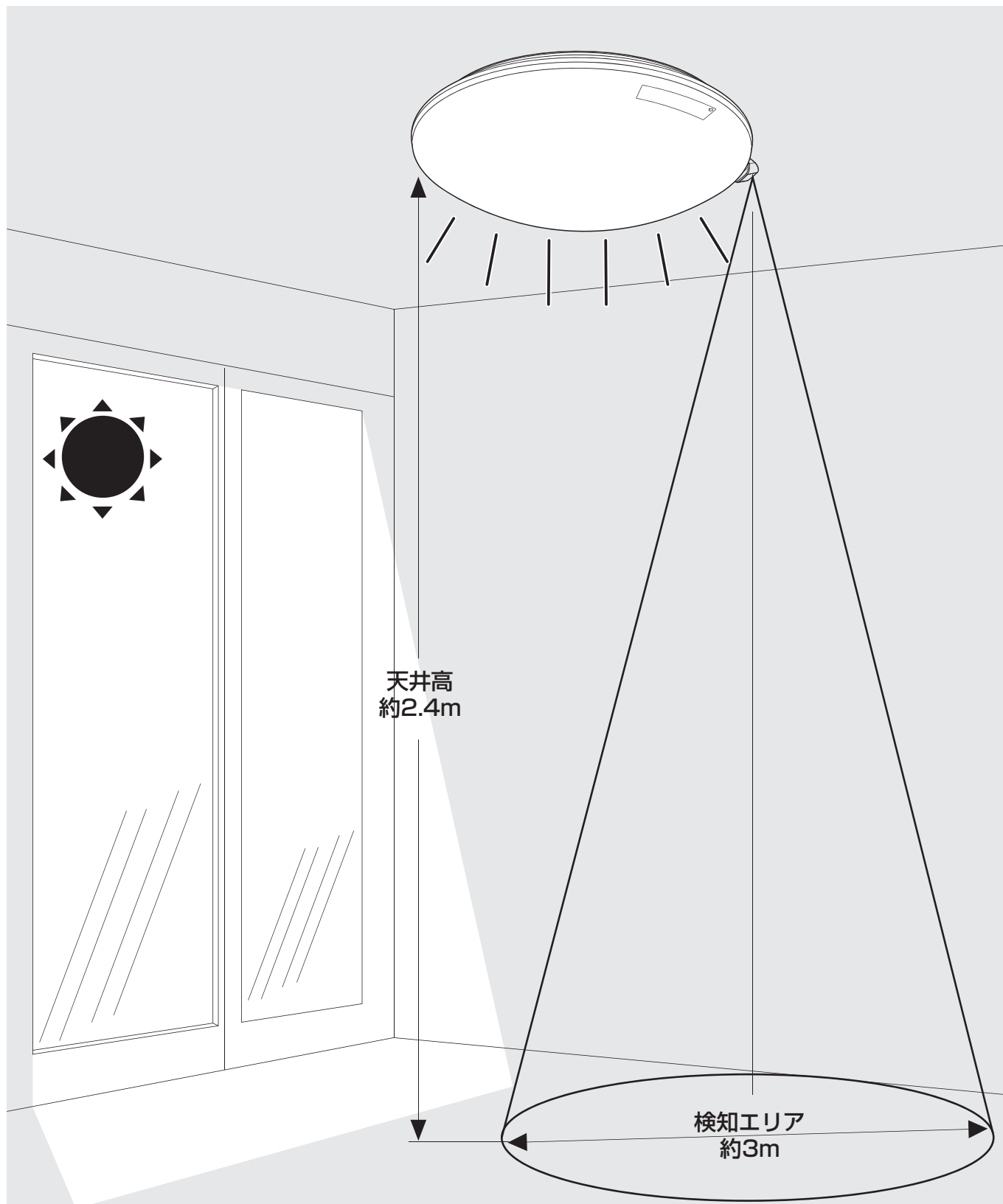
照明器具本体のチャンネル設定が **ch2** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

照明器具本体のチャンネル設定が **ch1** に切り替わっているためリモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

リモコンは、他のタクズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

ecoセンサーとは

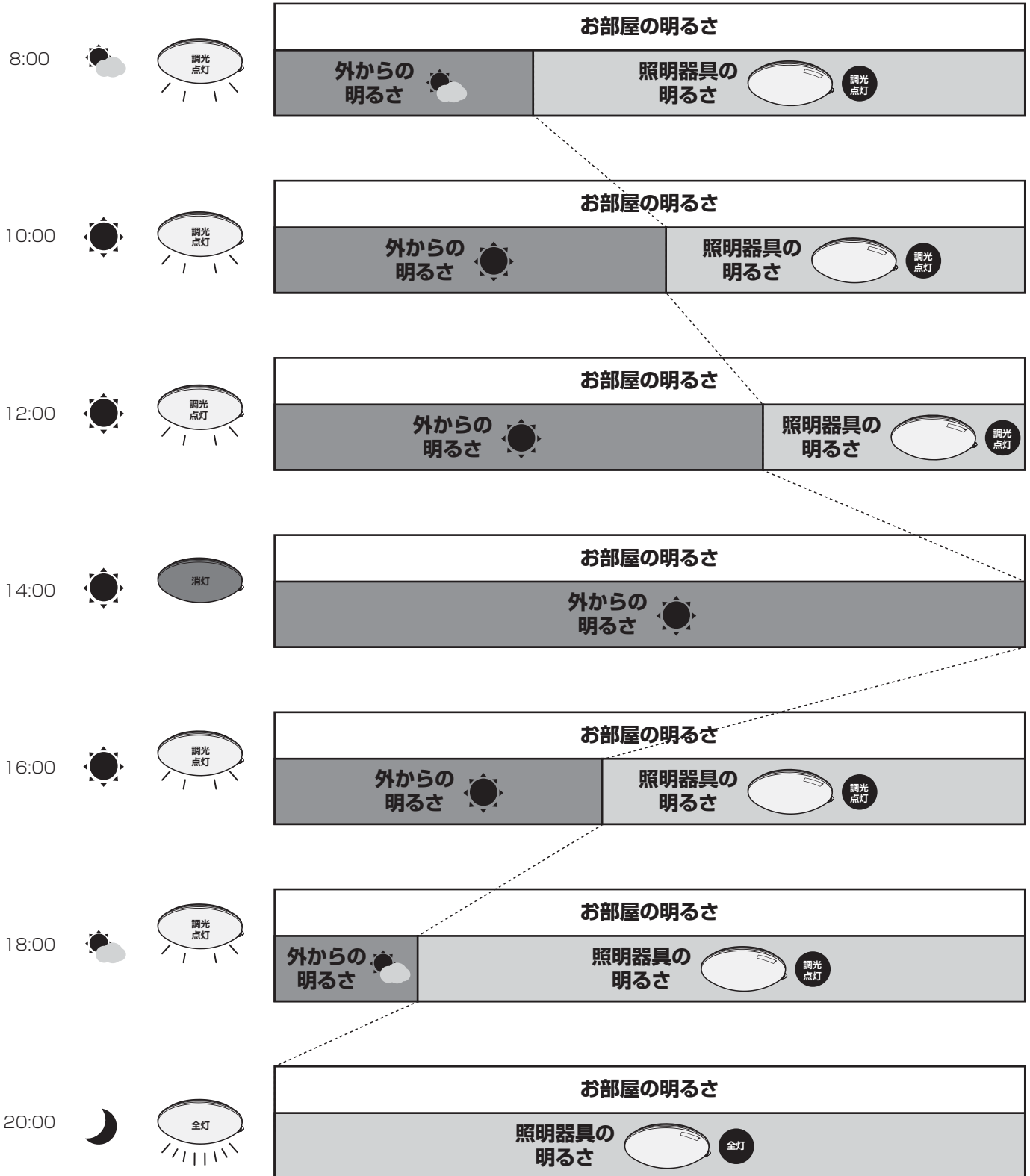
ecoセンサーが検知エリアの明るさを検知し、外光の明るさに応じて照明器具が自動で必要な明るさに調節する機能です。



検知エリアに外光が入ると自動で余分な明るさを減光・消灯します。

ecoセンサーの動作イメージ

環境設定したお部屋の明るさを基準として外からの明るさに対して照明器具の明るさを調節します。
 お部屋の明るさの基準の設定例として外からの明るさが暗いときに全灯の状態環境設定した場合で説明しております。
 (下の図で20:00のような状態のときに設定をした場合の例です。)



※上記の図はecoセンサーについてご理解いただくためのイメージ図です。
 使用状況などの環境によりイメージ図通りに動作しない場合があります。

1 設定条件を確認する。

設定は必ず夜間に行う。

昼間に環境設定を行うと正常に設定できません。

照明器具から約2m離れて設定する。

照明器具の近くに人がいると環境設定を正常に設定できません。

近くにあるほかの照明器具は、常時点灯させている場合を除き消灯する。

他の照明器具の光に反応して、正常な設定ができない場合があります。

2 点灯状態を調節する。

LED点灯中に調光・調色操作を行ない、お部屋の明るさの基準として設定したい点灯状態に設定します。

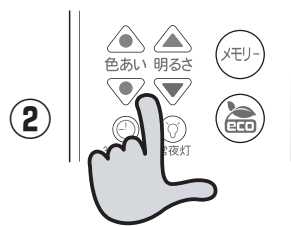
① リモコンの「全灯ボタン」を押してLEDを点灯させる。



点灯



② リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押しておこのみのLEDの明るさと色あいに調節する。



明るさ調節



色あい調節



● 照明器具を1～2時間点灯させてから、器具の明るさが安定した状態で環境設定を行うようにしてください。

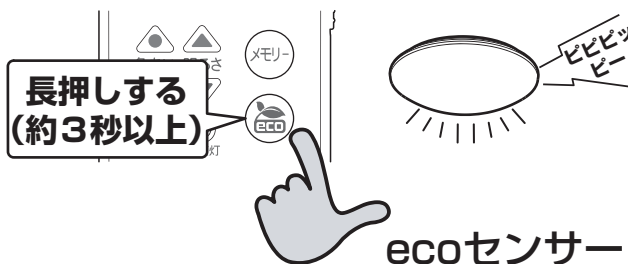
確認

常夜灯以外の点灯状態で設定してください。常夜灯ではお部屋の明るさの基準として環境設定できません。

3 センサー入/切ボタンを長押しする。(約3秒以上)

照明器具本体にリモコンを向けて「センサー入/切ボタン」を長押しして環境設定を行います。

「ピピピッ ピー」と音が鳴り明るさと色あいを記憶して環境設定を開始します。



ecoセンサー

確認用表示 (緑色)

ecoセンサーの確認用表示 (緑) が点灯します。

表示	状態
点灯	ecoセンサーON
点滅	明るさ変化中
消灯	ecoセンサーOFF



● 環境設定完了後は、センサーONの状態となります。

確認

再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさと色あい及び環境設定を保持します。

下記の場合には再度、環境設定を行ってください。

- ・ テーブルやソファなどの家具の配置を替えたとき
- ・ 壁紙やラグやカーテンなどの部屋の模様替えを行ったとき

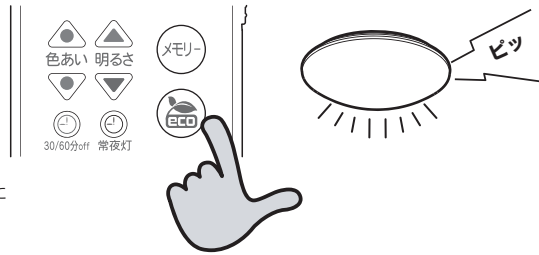
ecoセンサーの使い方

ecoセンサーをONにする

リモコンのセンサー入/切ボタンを押す。

「ピッ」と音が鳴り、ecoセンサーの
確認用表示（緑）が点灯し
ecoセンサーがONになります。

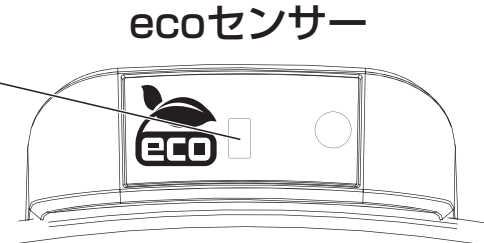
この場合、環境設定時にセンサー入/切ボタンで記憶した
「明るさと色あい」で点灯します。



確認用表示（緑色）

ecoセンサーの
確認用表示（緑）が
点灯します。

表示	状態
点灯	ecoセンサーON
点滅	明るさ変化中
消灯	ecoセンサーOFF



確認

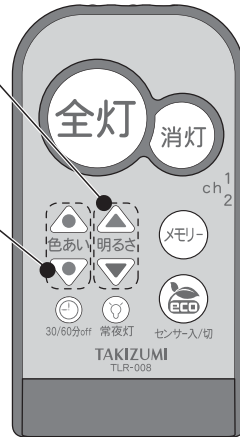
ecoセンサーがONの場合、下記のボタンは無効になります。

調光ボタン

明るさを調節します。
調光範囲：100%～約10%まで

調色ボタン

色あいを調色します。
調色範囲：昼光色6700K～電球色3000K※まで

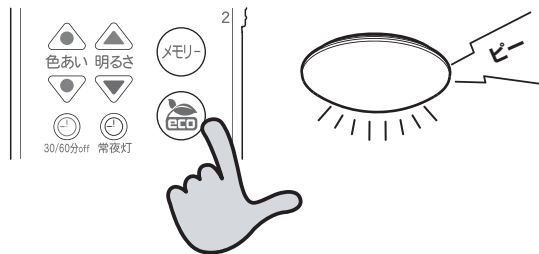


- ecoセンサーがONの場合、全灯/消灯/メモリー/常夜灯を押すとecoセンサーがOFFになり、リモコン操作が優先されます。
- offタイマーボタンはecoセンサー動作のまま30分または60分後に自動消灯を行います

ecoセンサーをOFFにする

リモコンのセンサー入/切ボタンを押す。

「ピー」と音が鳴り、ecoセンサーの
確認用表示（緑）が消灯し
ecoセンサーがOFFになります。



確認用表示（緑色）

ecoセンサーの
確認用表示（緑）が
消灯します。

表示	状態
点灯	ecoセンサーON
点滅	明るさ変化中
消灯	ecoセンサーOFF



確認

壁スイッチを素早く（約3秒以内に）OFF⇔ONと切り替えた場合でも、ecoセンサーをOFFにできます。

こんな場合にはどうするの？

<p>Q1. A.</p>	<p>ecoセンサーはどんな動作をするの？</p> <p>約30秒間隔でお部屋の明るさを測定し、明るさを変更するか、明るさを維持するか判断します。</p>	 <pre>graph TD; A[約30秒間隔でお部屋の明るさを測定] --> B{設定した明るさと一致しているか}; B -- YES --> A; B -- NO --> C[照明器具の明るさ変更];</pre>
<p>Q2. A.</p>	<p>検知エリア内でテレビをつけるとどうなるの？</p> <p>ほとんど影響はありませんが、気になる場合はecoセンサーをOFFにしてご使用ください。</p>	
<p>Q3. A.</p>	<p>ecoセンサーが汚れたらどうなるの？</p> <p>ecoセンサーが検知しにくくなるため、省エネ効果が得られにくくなります。汚れがひどい場合は石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取ったあとに柔らかい布で仕上げてください。</p>	
<p>Q4. A.</p>	<p>センサーにカメラのフラッシュが入ったらどうなるの？</p> <p>瞬間的な明るさ変化のためecoセンサーには影響しません。</p>	
<p>Q5. A.</p>	<p>取付ける天井高に制限はないの？</p> <p>標準天井高2.4m～3mまでを目安にご使用ください。天井が低いと検知エリアが狭くなり、天井が高いと検知エリアが広くなります。検知エリアが広いと周囲の明るさの影響を受けやすくなります。</p>	
<p>Q6. A.</p>	<p>なぜ環境設定を行う必要があるの？</p> <p>お部屋の明るさは家具や壁紙やラグなどの色や配置でも変化します。インテリアの色調が白い部屋とインテリアの色調が黒い部屋では、ecoセンサーが検出する明るさに差が出ます。環境設定はそのお部屋の基本となる明るさを測定し、適切な明るさで点灯するために必要な設定です。</p>	
<p>Q7. A.</p>	<p>外光がある状態で環境設定するとどうなるの？</p> <p>外からの光が入った状態で環境設定を行うと、お部屋の環境が明るいと誤測定してしまいます。誤った明るい状態が基準になり、それ以上の明るい光が入らないと減光動作を行わず省エネ効果が得られなくなります。</p>	
<p>Q8. A.</p>	<p>環境設定しないで使うとどうなるの？</p> <p>必ず環境設定を行ってからご使用ください。工場出荷時の環境設定は設定条件の中で最も明るい状態の設定になっております。そのため、誤った明るい状態が基準になり、それ以上の明るい光が入らないと減光動作を行わず省エネ効果が得られなくなります。</p>	
<p>Q9. A.</p>	<p>なぜ1～2時間点灯させてから環境設定をした方がいいの？</p> <p>LEDは点灯直後は明るさが安定しておりません。1～2時間点灯させることにより、明るさが安定した状態で環境設定を行うことができます。</p>	
<p>Q10. A.</p>	<p>同じ部屋にダウンライトなどの照明があるときはどうやって環境設定するの？</p> <p>基本的には消灯して環境設定していただく方が省エネ効果が得られます。ただし、ふだんからダウンライトなどの照明を常時点灯している場合は、点灯した状態で環境設定を行ってください。</p>	

現象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。	➡ 壁スイッチをONにしてください。 ⇒7ページ
	器具のコネクタが確実に差し込まれていない。	➡ 器具のコネクタを確実に接続してください。 ⇒5ページ
消灯しない。	消灯ボタンを2回続けて押して操作している。	➡ リモコンの消灯ボタンを2回続けて押すと一瞬暗くなった後、約30秒後に消灯します。 ⇒6ページ
環境設定ができない。	壁スイッチがOFFになっている。	➡ 壁スイッチをONにしてください。 ⇒7ページ
	消灯になっている。	➡ 常夜灯以外の点灯状態にしてから環境設定を行ってください。 ⇒11ページ
	点灯状態が常夜灯になっている。	➡ 常夜灯以外の点灯状態にしてから環境設定を行ってください。 ⇒11ページ
色あい・明るさを調節できない。	ecoセンサーがONになっている。	➡ ecoセンサーをOFFにしてから操作してください。 ⇒12ページ
リモコンで操作できない。	電池が正しく入っていない。	➡ 電池を正しく入れてください。 ⇒7ページ
	電池が消耗している。	➡ 電池を交換してください。 ⇒7ページ
	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	➡ リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 ⇒8ページ
勝手に点灯、消灯する。	offタイマー30分/60分がセットされている。	➡ offタイマー30分/60分を解除してください。 ⇒6ページ
	ecoセンサーがONになっている。(自動消灯)	➡ ecoセンサーをOFFにしてください。リモコンまたは壁スイッチ操作してください。 ⇒12ページ ⇒6、7ページ
	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき点灯状態が切り替わった可能性がある。	➡ 壁スイッチをOFFにしてください。リモコンまたは壁スイッチ操作してください。 ⇒7ページ ⇒6、7ページ

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

ご使用上に関するお知らせ

お手入れについて

【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはパラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に下記の手順で清掃してください。

本体：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。**（水洗いはできません。）**

カバー（プラスチックのもの）：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。

カバー（木・竹・和紙）：ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。**（水洗いはできません。）**

- 使用する電池や条件により半年未満で消費することがあります。
※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
長期間使わないときは、電池を取り出してください。（液漏れによる故障防止）

- リモコンの送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



確認

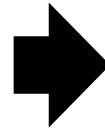
シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

【ecoセンサーONの状態の時、場合によっては下記の現象が起こることがあります。】

- お部屋の床やテーブルなどの色味が濃い場合に器具の真下で新聞や雑誌などを広げたり白いお皿を並べたり、白い衣服で座ったりした場合。
- 近くにあるデスクスタンドや壁面のブラケットライトなどのほかの照明器具を点灯させた場合。
- ecoセンサーの検知エリアに窓からの太陽光が床面、ブラインドなどで反射し入った場合。
- ecoセンサーに鏡の反射光が入った場合。
- 照明器具の真下に長時間立った場合。



照明が暗くなったり、消灯する場合がありますが異常ではありません。気になる場合は環境設定時の明るさを明るくして設定してください。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：43.8W 常夜灯：1.3W 待機時：1W以下	0.44A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タクシミ照明器具保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- ご転居の場合の修理依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 保証期間は製品お買い上げ日から**5年間**です。（本体、LED器具の点灯装置）但し、付属部品は**1年間**です。
お買い上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障および損傷
(3)ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化
(4)各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下
(5)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、損害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
(6)一般家庭用以外（例えば業務用等や車両、船舶等に搭載）に使用された場合の故障および損傷
(7)施工上の不備に起因する故障や不具合
(8)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障および損傷
(9)本書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
(10)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
- 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
（※セードなどの電気部品以外の部品は含まない）
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	GSX12095	保証期間 (お買い上げ日から) <small>※2015年7月1日以降お買い上げの商品が対象になります。</small>	本体、LED器具の点灯装置：5年間		お買い上げ日	年 月 日
			カバー、付属部品など：1年間			
お客様	お名前		販売店名・住所・電話番号			
	ご住所 〒 -					
電話番号 () -						

●お客様にご記入いただいた保証書の控は、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

「お客様相談室」 フリーダイヤル  **0120-226-544**

受付時間/月～金(土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く) 9:00～17:00

<http://www.takizumi-denki.com/>